

KagoGIGAインフォメーション

鹿児島県教育庁高校教育課
学校教育ICT推進班
令和6年1月号

18

今回の話題 かがしま「教育の情報化」フォーラムを開催!!

1月11日(木)、かがしま県民交流センターにおいて、「かがしま『教育の情報化』フォーラム」を開催しました。今年メインテーマを「実感」とし、サブテーマを「活用を『実感』し推進する鹿児島県の教育DX」と銘打って、講演やパネルディスカッション、実践発表、企業プレゼン、企業ブースなど、盛り沢山のメニューで実施したところ。一部オンラインによる配信も行い、延べ230人の方(うち、オンライン参加65人、県外からの参加35人)に参加していただきました。

メインテーマ 「実感」

かがしま「教育の情報化」フォーラム
～活用を『実感』し推進する鹿児島県の教育DX～

かがしま県民交流センター 2階 大ホール ほか
http://www.kagoshima-pac.jp/access
令和6年1月11日(木) 午前9時30分開会 入場無料

【内容】

【取組報告】 9:40～9:55 鹿児島県教育DX推進リーダー取組報告
【INFORMATION】 9:55～10:55 「セカンドGIGAに向けた3OS (Chrome, iOS, Windows) からの情報提供」

【分科会Ⅰ】 11:10～11:55
A 学校DXを推進する取組実践事例(リーディングDX認定校1) / 専修大(専修中央中学校・専修小学校)
B ICT支援に期待されること/合同会社かんがえる CEO 五十嵐基子氏
C デジタルシニアシップ教育を含めた情報モラル教育の考え方/サイバーフロックス 高橋秀彦氏
D ICTを活用した個別最適な学びに関する実践事例/鹿児島市立東郷小学校・鹿児島市立吉田中学校

【分科会Ⅱ】 13:00～13:45
A 学校DXを推進する取組実践事例(リーディングDX認定校2) / 鹿児島市(武中学校・川平小学校)
B 教科「情報Ⅰ」の知識実践報告/鹿児島高等学校
C 特設支援学校における新制度適用力の向上/鹿児島特別支援学校・中野特別支援学校
D 探究的な学習の実践事例/鹿児島市立南郷中学校

【講演】 14:00～15:00
講師 鹿野 利春氏 京都精華大学メディア表現学部 教授
文部科学省 学校DX戦略アドバイザー
テーマ これからの時代で求められる学校における情報教育の推進

【パネルディスカッション】 15:10～16:30
テーマ 教職員に良さを「実感(意識改革)」させる教育DXの推進と活用促進の在り方を考える

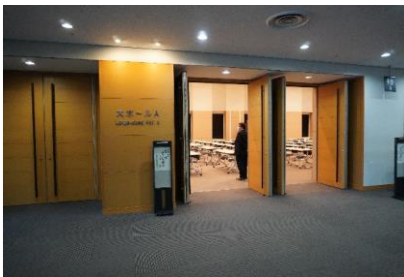
【特設開催】
【企業ブース】 9:00～16:30 2階大ホール前
【企業プレゼン】 12:30～13:30 2階大ホール

参加申し込み方法
教職員 一般問わず、右の2次元コードから申込
フォームにアクセスしてください。

講演



パネルディスカッション



分科会(実践発表等)



今年度は講演の講師に、京都精華大学メディア表現学部教授で、文部科学省学校DX戦略アドバイザーもされている鹿野利春先生を迎え、「これからの時代で求められる学校における情報教育の推進」をテーマに、学校においてプログラミング教育が重視されることとなった経緯など、貴重な講話をいただきました。

また、セカンド GIGA に向けた3OS からの情報提供や本県及び全国の先進的な取組や実践の紹介、そして、「教職員に良さを『実感(意識改革)』させる教育DXの推進と活用促進の在り方を考える」をテーマに、講師の鹿野先生を始め、文部科学省初等中等教育局修学支援・教材課学校デジタル化プロジェクトチーム課長補佐の渡辺洋平氏、本県の「教育の情報化」に係る第一人者の方々といった豪華パネラーをお招きしてのパネルディスカッションと、盛り沢山のメニューで開催しました。

本会場前では、教育ICTコンテンツ等を提供されている企業の展示ブースを設置し、今年も企業によるプレゼンテーションの時間も設け、大盛況のフォーラムとなりました。

講演、パネルディスカッション、分科会等の資料について、許可がいただけたものについては、Microsoft Teamsの「KagoGIGA情報交流室」で共有させていただいています。

—参加者の内訳—

| 校種等 | 小学校 | 中学校 | 義務教育 学校 | 高等学校 | 特別支援 学校 | 行政・教 育機関 | 私立学校 | 大学生・ 専門学校 生 | 大学・専 門学校等 の教職員 | その他の教 育関係者 | 一般 | 企業等 | 合計 |
|-----------|-----|-----|------------|------|------------|-------------|------|-------------------|----------------------|---------------|----|-----|-----|
| 総参加者数 | 46 | 38 | 3 | 31 | 5 | 30 | 3 | 1 | 9 | 18 | 5 | 41 | 230 |
| [うちオンライン] | 20 | 10 | 1 | 6 | 0 | 10 | 0 | 0 | 5 | 13 | 0 | 0 | 65 |
| 県外参加者 | 2 | 5 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 | 2 | 1 | 19 | 35 |

—事後アンケートでいただいた感想等—

講演

※ スペース等の関係上、いただいた文章を抜粋、編集しております。

- ・ 直近のトレンドだけではなく、長期的な視点で次世代の学びの在り方を考えるうえで、非常に学びの多い講演でした。ありがとうございます。(40代・私立学校教職員)
- ・ 小、中、高の情報の授業の関連、社会との関連や課題について理解が進んだ。(50代・高等学校教職員)
- ・ 情報活用能力を小中高ごとに系統立てた背景が分かり、ためになる講演であった。高校までの系統を見通した小学校段階での取組について知ることができた。(60代・小学校教職員)



実践事例発表等

- ・ 教師の取り組みでこんなに子どもたちが伸びることがわかり、改めて教師側の体制作りの大切さを感じた。(50代・義務教育学校教職員)
- ・ 学校全体で取り組むことの大切さを感じた。子供たちのため、職員のためになる取組を小さいことからでもみんなで共有していきたい。(50代・小学校教職員)
- ・ 小中学校での実践例を見て、この生徒たちが高校に入学してくると考えると、高校はすごく遅れているのではないかと不安になりました。業務の効率化もすぐに取り入れられそうな実践例が多く、とても参考になりました。(50代・高等学校教職員)
- ・ 生徒の発想に驚きました。私たち教員が共に学ぶ最良のパートナーであることを再確認できました。(40代・中学校教職員)
- ・ ICT活用が固定化していることが悩みだった。今回学んだ方法を生かし、子どもたちが自分たちで選択して学習できる環境をつくっていききたいと感じた。(20代・小学校教職員)
- ・ ICTを活用することで、外国とのつながりも可能となり動画の作成等を通して、著作権や肖像権などへの意識も高まるなど非常に効果的な活動内容でした。高校でもしたいと思いました。(40代・高等学校教職員)

企業ブース・フレステーション

- ・ 更新の参考になった。(50代・行政・教育機関)
- ・ 現場で何ができるのか考えたいです。(50代・中学校教職員)
- ・ いろいろなアプリやハード等もあり、興味深いものもあった。自治体等で導入してもらえたらありがたい。(50代・小学校教職員)



パネルディスカッション

- ・ 内容も双方向のシステムもシンプルに面白い時間でした。裏の準備や司会者の卓越した配慮を実感しました。分掌改善やってみます！(50代・高等学校教職員)
- ・ パネラーの先生方のお話はどれも示唆に富むものであった。心理的安全性を高めて、職員が自走する組織を目指して、自分も研究実践に取り組んでいきたい。(50代・小学校教職員)
- ・ それぞれのお立場からの発言は、自分の見方・考え方を広げ・深めるものでした。フロアの感じたことや考えたことを、リアルタイムで共有できるのもよかったです。やってみて、そのよさをまさに「実感」でした。(40代・行政・教育機関)
- ・ パネラーの「まずは大人が体現しなきゃ。主体的対話的で深い学びを先生たちが実践しよう！」という話や、先生方の「成功体験、役立ち実感」がドライブになるという話が印象的でした。(30代・企業等)
- ・ ICTを活用して便利だと実感し、使うことが楽しい、もっと使ってみたくて周りの先生方が感じられるようにがんばっていきたくてと思いました。(20代・小学校教職員)

参加者に多くの「実感」を感じていただけた充実したフォーラムになったと感じています。改善に向けての御意見もいただいているので、次年度に向けて検討していきたいと思っております。

今回、実践発表やパネルディスカッション等で御登壇いただいた方々、企業ブース等に出展いただいた企業の皆様、フォーラムに参加していただいた方々、皆様の御協力あってのことと思っております。

次年度のフォーラムも充実したものにしたいと思っておりますので、是非、多くの方々に御参加いただきますようお願いいたします。